

# イスタンブールの地理と歴史

170781017 川村琢水

ヨーロッパ側

アジア側

ボ  
ス  
ポ  
ラ  
ス  
海  
峡

金角湾



# 名称の変化

ビザンチン



↓コンスタンティヌス大帝が治世中



コンスタンティノープル



↓オスマン帝国が征服



イスタンブール

# 和訳全文

イスタンブールのヨーロッパ側は貿易とビジネスの中心である。一方、アジア側は大半が居住エリアである。ボスポラス海峡はイスタンブールを南北に分け、黒海とマルマラ海をつなぎ、アジアとヨーロッパを分けている。イスタンブールのヨーロッパ側の真ん中に、東西7kmの狭い湾が存在している。この湾は金角湾と名付けられており、イスタンブール市街を万僕に分断している。アジアとヨーロッパの間に位置することからイスタンブールは常に大きな地政学的重要性をもっている。

今日でも、イスタンブールは未だ中央アジアのトルコ系共和国、中東の国々、バルカン半島の政治と商業の中心である。

ビザンチウムとして知られていた都市は、ローマ皇帝コンスタンティヌス大帝の治世中に大帝の名前からコンスタンティノープルという名付けられた。オスマン帝国がその地を征服した後、イスタンブールという名で知られ、ヨーロッパで最大かつ最も人口密度の高い都市の一つになった。市の広さは7500平方キロメートル、長さ150km、幅50km。